

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-09 車両購入事業						
	□支援部門						
主管課	警防救急課			関連課			
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災をはじめ、各種災害への対応に備え、消防車両の更新及び法定点検等の維持管理を図る。						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考		
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	139,643	111,079	94,206			
	(国・県)		59,048	50,421			
	(負担金等)	124,300	45,100	38,200			
	(一般財源)	15,343	6,931	5,585			
	人員配置数	2.0	2.0	1.0			
	人件費(千円)	17,672	18,367	9,636			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	157,315	129,446	103,842			
	市民1人当 りの経費(円)	888	731	588			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
車両購入事業の達成率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	120.0%	100.0%	100.0%		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
車両購入事業	109,283千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	□A ■B □C □D □E	
	事業の概要	消防車両の更新				
車両購入事業	30,360千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	□A ■B □C □D □E	
	事業の概要	消防車両の更新				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	震災をはじめ大規模災害への対応に備えた車両・装備の充実強化
課題解決のための取組	最新資機材のデモンストレーションを受け、導入検討等、知識を広めた。
未解決の課題	車両更新計画に基づき更新計画を実施しており、課題等なし。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		時代変貌と伴に複雑多様化する災害に備え、各種資機材について研究、導入計画等を検討する。	課長等名 警防救急課長 斎藤 務
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			
				↓ A	

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
車両購入事業	主な個別事業	239 鎌倉ポンプ付救助工作車	94,500	94,500	■適切	□見直し余地あり
		239 小型動力ポンプ付積載車(第7・26分団)	14,574	14,574	■適切	□見直し余地あり
車両購入事業	主な個別事業	240 深沢高規格救急車	30,293	30,293	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり